

家庭学習を充実させるための家庭・地域の3つの視点

福島県教育委員会教育長からのメッセージ

お手伝い。
体験、実感、感謝の心。

子どもに家事を手伝わせることは、勤労性を育み自立を促すとともに、自己肯定感や感謝の気持ち、コミュニケーション能力を養うことにもつながります。年齢に応じて、積極的にお手伝いをさせましょう。

視点
1

心の支え

- コミュニケーションを大切にし、お子さんの言葉に耳を傾け、心に寄り添ってよき話し相手になりましょう。
- 自信をなくしたり、学習成果に不安を感じたりしているときには、**安心感**を与えてあげましょう。

福島県PTA連合会長からのメッセージ

今こそ必要、大人の背中

昔から「子どもは親の背中を見て育つ」と言います。大人の背中には、子どもたちに明るい未来を指し示す発信力があるのだと思います。子どもたちが誇りをもち、夢をもち、将来に希望と自信のもてる教育環境をつくりながら、今後子どもたちのためにどうあるべきかを、大人の背中で考えてまいります。

視点
2

環境づくり

- 学習する場所を整理し、集中できる環境をつくりましょう。
- 家族と一緒に読書をする機会を設けましょう。
- 図書館・公民館などの利用や**体験活動**を促しましょう。
- **地域行事**に積極的に参加させましょう。

視点
3

習慣づくり

- 早寝・早起きやお手伝いの習慣を身に付けさせましょう。
- **朝ごはん**は、必ず「毎日」、できるだけ「みんなで」食べましょう。
- テレビやゲーム、スマホなどをする**ときのルール**を決めましょう。

ふくしまの「家庭学習スタンダード」

Research
自分を**知る**



Action
見**直す**

授業は先生や友達と力を合わせて……
家庭学習は自分の力で……
だから育てたい!

Plan
計**画**する

自己マネジメント力

現代の子どもたちは、テレビやゲーム、スマホなど、誘惑が多い環境の中で、家庭学習(宿題+自主学習)に取り組んでいくことになります。だからこそ、「R-PDCAサイクルを通して、自分で学習や生活を改善する力」、つまり、「自己マネジメント力」が必要になるのです。

Check
確**か**める

D.
自**ら**学習する

変化の激しい時代にあって、子どもたちが、豊かな人生を切り拓き、よりよい社会の創り手として成長していくことは、私たち大人の共通の願いです。そのような子どもたちの未来像を描くとき、学校での学習はもちろんのこと、家庭での学習を充実させていくことがとても大切になります。本リーフレット「ふくしまの『家庭学習スタンダード』」は、子どもたちに、家庭学習を通して「自己マネジメント力」を育みたいという願いを込め、作成しました。本リーフレットを仲立ちにして、学校、家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、子どもたちの家庭学習を充実させていきましょう。

家庭学習を充実させるための学校の4つの取組

取組① 共通理解を図り指導します。

- 学年に応じた「家庭学習の手引き」などを作成するとともに、全教員が共通理解を図って指導していきます。
- 宿題の内容や量について、教員間で話し合い、調整していきます。

取組② 授業と家庭学習をつなげます。

- 学習内容に応じて、宿題(復習、予習)を効果的に活用した授業に努めていきます。
- 授業で学習したことを活用できる場面や方法を紹介していきます。

取組③ 内容・方法を指導します。

- 学習内容や方法、時間、ノートの使い方などを示した手引きなどを継続的に活用し、学習の仕方を指導していきます。
- 「調べ、考え、書く」を中心とした活用型の宿題にも取り組ませていきます。

取組④ 協力・連携体制を築きます。

- 地区の小学校同士や小中学校間で、家庭学習の内容や方法などについて共通理解を図り、取り組んでいきます。
- お子さんや保護者の、家庭学習に関する悩みや要望を把握し、相談する機会を設けていきます。

- 家庭での学習や生活の問題点、課題などに気付かせる機会を設ける。
- 学習や生活の振り返りができるチェックシートなどを活用し、自己診断できるようにする。 など

- 学習や生活の目標、計画を立てる機会を設ける。
- 目標のポイントを掲示するなど、常に意識するよう促す。 など

- 一定期間の実施状況を記録できる「計画実施表」などを準備する。
- 毎日、実行状況のコメントを書くよう促す。 など

- これまでの学習を振り返り、成果と課題を明らかにする機会を設ける。
- 成果を上げた取組を確認したり、課題を分析したりするよう促す。 など

- 改善のための目標を明確にする機会を設ける。
- 新たな目標を基にした計画を確認し、励ます。 など



R Research 自分を知る

自分の課題を客観的にとらえる。

P Plan 計画する

自分の課題にそった目標や計画を立てる。

D Do 自ら学習する

計画にそって主体的に学習する。

C Check 確かめる

学習の結果や取組を振り返り、確かめる。

A Action 見直す

学習の内容・方法を見直し、修正する。



「自己マネジメント力」を育む家庭・地域の関わり

心の支え

難しいところはあった？できるようにするためには、どうしたらよいか？

〇〇になるためには、△△をやってみるのもよいかもね。

あなたは、ものを教えることが上手だね。

こつこつと頑張れるって、すごいことよ。

将来は、どのような職業に就きたいの？

人は成功するより、失敗することのほうが多いものよ。

ずいぶん集中して頑張っていたね。

この前のテストで、〇〇ができていたね。

ちょっとした変化に気付いて、認めてあげることが大切ね……。

他のお子さんと比べないように、気を付けたい……。

- お子さんが「自分のよさ」を自覚したり、将来の夢や目標の実現を意識したりできるようにする。
- お子さんのノートや学習プリントなどを見て、頑張った過程を認める。
- 学校からの依頼に応じて、保護者からのコメントを書いたり、確認印を押したりする。
- 自分の成功体験や失敗体験を話す。 など

環境づくり

プリントを整理するファイルが必要ね。

新聞に〇〇について載っていたよ。読んでごらん。

来週の日曜日に、〇〇〇〇に行つて、一緒に調べよう。

〇〇〇〇体験セミナーに参加してみない？

調べてまとめる学習も大切であることが、学年だよりに書いてあったわね……。

〇〇〇〇日は家族みんなで読書をししましょう。

〇〇〇〇検定に挑戦してみたらどうか。

読書は、集中力を高める効果もあると聞いたことがあるな……。

- テレビを消すなど、お子さんが集中して学習できる環境をつくる。
- 目が届くところに、お子さんがいつでも相談できる環境をつくる。
- 地域行事の予定などを、前もってお子さんに知らせる。
- 興味をもちそうな本や新聞記事を紹介する。 など

習慣づくり

すぐに学習を始めたね。

計画では、1日〇〇分だったよね。

目標を貼っておくと、やる気が出るわよ。

今度のテストに向けて、どのような目標を立てるの？

ゲーム、スマホは〇時までね。

夕飯は、〇時を目安に食べましょう。

ゲーム、スマホは〇時までね。

子どもとルールを決めることが大切ね……。

私も早寝・早起きを心がけないと……。

- お子さんに、やらなければならないことややってほしいことなどを気付かせる。
- 「起床時刻」、「就寝時刻」、「学習を始める時刻」を決めさせる。
- 家族みんなで規則正しい生活を心がける。 など

お子さんと一緒に家庭学習を振り返ってみませんか？

- ✓ 学習する場所を整理している。
- ✓ 正しい姿勢で学習している。
- ✓ 目標をもって学習している。
- ✓ 計画を立てて学習している。
- ✓ 学習する時間帯を決めている。
- ✓ 集中して学習している。
- ✓ 宿題以外の学習もしている。
- ✓ 苦手な教科も学習している。
- ✓ 様々な分野の本を読んでいる。

小学校低学年での育成を!

小学校低学年では、望ましい学習態度を育成することが大切です。

- 宿題をきちんとやること
- 鉛筆を正しく持ち、丁寧に文字を書くこと
- 正しい姿勢で学習すること
- 声に出して、はっきり読むこと

などを意識させ、しっかり身に付くまで関わってあげてください。

小学校中学年頃から、計画性や自分を振り返る力を徐々に伸ばしていきましょう。